

ご挨拶

この度の豪雨で被害を受けられた地域・自治体・企業等の方には、お見舞い申し上げます。今年度は、新型コロナウイルス感染症対応に加え、被害影響が広範かつ重大な自然災害が多発し、改めてプラチナ社会構築に向け、AI・IoT等の活用、まちづくりなどの面で、各地域の実情に応じた政策と民間サービスを自律分散的に展開していく必要を感じています。それでは、今月のマンスリーニュースをお届けいたします。

第7回「行政情報標準化・AI活用研究会」Webオンラインミーティング開催

自治体でのAI・ICT利活用の検討を行う当研究会では、7月に“ポストコロナ時代の行政サービス”をテーマにしたオンラインミーティングを連続実施しました。初めてのオンライン開催となりましたが、計26団体にご参加いただき、特別定額給付金の申請受付など新型コロナウイルス感染症対策に伴う業務課題や「新しい生活様式」に対応した今後の自治体業務・住民サービスのあり方に関して情報交換とディスカッションを行いました。

特別定額給付金の申請受付業務では迅速な対応が求められていたため、多くの自治体がAI-OCRやRPA等のツール導入などの工夫した取組みが報告されました。一方で、今後の課題として挙げられたのは「職員のテレワーク環境の整備」と「オンライン相談」です。自治体業務は庁内で行うことが前提となっており、テレワークに必要な端末の準備やセキュリティが担保されたネットワーク整備、人事制度の検討が進んでおらず、新型コロナウイルス感染症対策をきっかけとして各自治体において急ピッチで対応が進められているということでした。また、これまで対面で行われてきた住民相談をオンラインでも実施できるよう検討を始めている自治体もありましたが、相談内容は機微情報を含むため、利用するツールのセキュリティ対策やオンラインでの情報管理に関するルール整備が課題であることが指摘されました。

当研究会では、引き続き自治体間での情報交換・ディスカッションを行い「ポストコロナ時代の行政サービス」の検討を進める予定です。

お問合せ先：行政情報標準化・AI活用研究会事務局 p65-ai-info-ml@ml.mri.co.jp

プラチナキャリア・アワード ネット表彰式開催



プラチナキャリアとは、未来共創イノベーションネットワーク（INCF）で提唱された新しいコンセプトです。具体的には「長期的な視点で、自己の成長や所属する企業の発展、ひいては社会への貢献を目指し、年齢によらず自律的な学び・経験を通じてスキルを磨き、得られたスキルを存分に活かして積み上げていくキャリア」です。この理念を社会に広めることを目的に、同キャリアを支援する企業を選定・表彰するプラ

ICT・AIサービスの利用状況、今後の導入優先度

※回答総数：21（未記入あり、合計が21に満たない設備あり）

ICT・AIサービス	利用状況 ○利用済み ▲利用検討中 ×利用・検討していない/不明			導入の優先度 A: 1年以内に入力しない、B: 3年以内に入力しない、 C: 必要に応じて導入しない、D: 導入の必要なし、 E: 分からない				
	○	▲	×	A	B	C	D	E
①LINEによるパーソナルサポート (個人の状況に応じた情報提供・状況把握)	3	2	16	1	1	8	1	3
②AIチャットボット (問い合わせ対応)	12	5	4	9	0	3	0	0
③電話オペレーション支援 (通話時の会話記録のテキスト化等)	0	3	18	0	0	7	4	5
④対象となる支援策が自ら判定可能な住民向けWebサービス	1	3	17	1	0	10	1	4
⑤本人確認や口座情報チェックが可能な電子申請システム	6	0	15	3	3	7	0	1
⑥AI-OCR + RPA (申請書類の電子化)	9	2	10	10	3	4	0	1
⑦申請受付状況・振込日等の確認ができる住民向けWebサービス	2	3	16	2	0	9	1	4
⑧感染患者数・感染経路等のデータ分析	0	1	20	0	0	9	1	3
⑨Webオンライン会議ツール	16	3	2	15	1	2	0	0

Copyright (C) Mikasa Research Institute, Inc. 1

チナキャリア・アワードを昨年設立しました。今年度は厚生労働省、東京証券取引所の後援を得て、6月23日にネット表彰式を行い、その模様をストリーミング配信しました。表彰式では、最優秀賞の積水化学工業株式会社他の表彰企業に、小宮山宏審査委員長から表彰状が授与されると共に、受賞企業代表者から具体的な取り組み事例や今後の抱負を紹介頂きました。プラチナキャリアや表彰企業の詳細は下記をご参照ください。

【URL】 <https://www.mri.co.jp/news/press/20200625.html>

MMR7月号特集「ポストコロナがもたらす新しい地方創生」ご案内

プラチナ社会研究会及び未来共創イノベーションネットワーク(INCF)の会員活動に基づき、三菱総合研究所の月刊オピニオン誌「三菱総研マンスリーレビュー：MMR7月号」に、「ポストコロナがもたらす新しい地方創生」と題した特集論稿を掲載しました。和歌山県・大阪市など自治体の取組みに加え、T-ICU・エクサウィザーズなど新進気鋭のベンチャー企業連携による地域・社会課題解決の実例を取り上げ、新しい地方創生の姿を「自律分散協調社会」と位置づけています。コロナ前後の変化に着目しつつ、国・地方自治体・企業・住民それぞれの今後の行動への期待もまとめていますので、ぜひご覧ください。

【表】新型コロナのビフォア/アフターにおける各種変化

	ビフォア	アフター
科学	医療現場中心、行政施策への科学知見活用は限定的	行政施策への科学知見活用が拡大、エビデンス、科学に基づく行政へ
行政	日本型中央統制ガバナンスを通じた効率化、国の統一基準による施策	国の統一基準に頼らない、各地域の独自政策・発信が拡大
連携	中央政策に依存した自治体サービスが主力、企業・住民との連携は部分的	各地域に応じた自治体・企業・住民の取り組みをさまざまなかたちで実装
住民	住民の行動抑制・感度・リテラシーはあまり高くない	罰則に頼らない柔軟な行動変容、科学リテラシー・受容度・理解度も急速に向上
	“都市集中・工業化社会”	“自律分散協調社会”

出所：三菱総合研究所

【URL】 <https://www.mri.co.jp/knowledge/mreview/202007.html>

今後の主な予定

■ 介護・医療、健康づくり分野における官民データの利活用分科会 第1回開催

2020年8月24日（月）14:00～15:30 オンライン開催（J-Stream形式）

当研究会会員の株式会社NTTドコモ起案の本分科会では、地方自治体における共通課題である健康寿命の延伸、住民のQOL向上に向けて、社会保障関係費の適正化を目指した官民データの利活用の方策について検討を行います。

※ 本分科会は自治体の方のみご参加いただけます。

【URL】 <http://platinum.mri.co.jp/seminar/subcommittee-meeting/p71-lg-iot-20200824>

■ ヘルスケアイノベーション協議会 フォローアップセミナー開催

2020年9月3日（木）10:00～12:00 協議会メンバー限定

昨年度の提言発表を受け、会員相互の関係を維持・強化するとともに、会員同士の創発により次の具体的アクションにつなげるきっかけとすべく、フォローアップセミナーをオンライン（Zoom形式）にて開催いたします。

提言書は下記にて公開しております。

【URL】 <http://platinum.mri.co.jp/seminar/subcommittee-meeting/p75-healthcare-teigen>

お問合せ先：ヘルスケアイノベーション協議会事務局 p75-healthcare@ml.mri.co.jp



プラチナ社会研究会事務局

E-mail: platinum@mri.co.jp TEL: 03-6858-0145

URL: <http://platinum.mri.co.jp>

東京都千代田区永田町 2-10-3 (〒100-8141)